

報道関係者各位

プレスリリース

2020年7月6日

アジャイルメディア・ネットワーク株式会社

アジャイルメディア・ネットワーク、CI(コーポレートアイデンティティ)を刷新
～個が活躍する時代における推進者として、
「小さな経済」を成長させ続ける企業へ～

『世界中の“好き”を加速する』をビジョンに掲げ、ブランドのファン育成・活性化を手がけるアジャイルメディア・ネットワーク株式会社(本社：東京都港区、代表取締役社長：上田 怜史、東証マザーズ上場：証券コード 6573、以下 AMN)は、CI (コーポレートアイデンティティ) を刷新し、社名ロゴ及び、自社サイト (<https://agilemedia.jp/>) を改訂しました。



■CI 刷新の背景

当社は 2007 年設立当時より、ファンと企業、ファンとブランドを繋ぐことを目指し、「人」を軸にマーケティング支援をおこなう事業を展開してまいりました。これまで『世界中の“好き”を加速する』というビジョンを掲げ、事業に邁進してまいりましたが、このたび次のような思いを込めて CI を刷新することとなりました。

- ・新たな変化への対応と、自ら変化を起こす企業であることを再定義する
- ・過去ではなく、これから実現することに合わせた象徴にする
- ・当社が大切にしている価値観をわかりやすく説明できるようにする

■リニューアルのプロセス

社名ロゴをリニューアルするにあたり、社員全員に「現在の AMN に対する印象」「AMN に対する印象で、未来も持ち続けたいもの」「現在はない AMN に対する印象で、新たに与えたいもの」等の項目で事前アンケートを行いました。

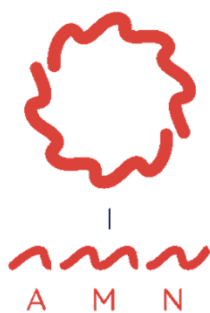
そのアンケートで出てきた内容を、プロジェクトチームを中心にデザインの表現方針としてまとめ、複数案を作成しました。その後、その案を社員へプレゼンし、再度アンケートを取り、今回の決定に至りました。

■新コーポレートロゴ

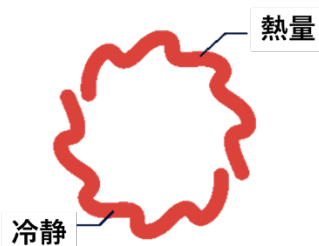
Agile Media Network

●デザインコンセプト

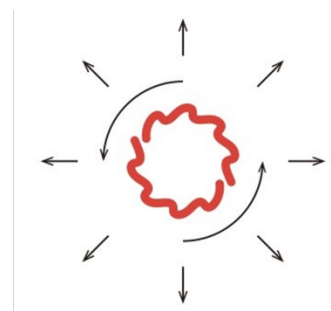
- ・2つの「AMN」という字が組み合わせられて出来たデザイン。これは「一人ひとりのファンと親身に向き合い大切に作るあたたかさ」と「サービス開発やマーケットを分析する俯瞰的視点や冷静さ」という、AMNの強みである2つの側面を表現している。
- ・チャレンジや変化を楽しむチームとして、あらゆるプロジェクトに立ち向かう熱量を表現している。
- ・“好き”という気持ちが広がり、経済がまわり続ける（加速・広がる）様子を表現している。



AMNとAMNの2つで成り立っている。



一人ひとりのファンを大切に作るあたたかさ、サービス開発やマーケット分析等に必要の冷静さというAMNの強みである2つの側面を表現



”好き“という気持ちが広がり経済がまわりつづける（加速・広がる）様子

● 自社 HP

[COMPANY](#)[VISION](#)[SERVICE](#)[NEWS](#)[RECRUIT](#)[IR](#)[JP EN](#)[CONTACT](#)

■ CI 変更に関する声

● アジャイルメディア・ネットワーク株式会社 代表取締役社長 上田 怜史コメント

創業から 13 年が経ち、外部環境の大きな変化への対応や、新たな領域へ進出をする上で『これからも変えずに大切にすること』をビジョンやミッションという形で定める一方、『状況に合わせて変えていくべきこと』を考え続ける中で、会社の象徴でもあるロゴを、より良いものにアップデート（更新）することを決めました。

会社のロゴは共に事業を推進するメンバーにとって本当に大切なものです。

私にとっても今までのロゴには大変思い入れがありますが、「私たちが変化を起こす側であり、それができる環境がある」という意識を新たにする必要がありました。

これは単なるデザインの変更ではなく、私たちが何を大切に考えるかを説明する象徴であると共に、当社がこれからも新たな価値を提供する存在であり続けるという宣言です。

皆さまにとって価値ある会社であり続けるため、また、サービスをご利用いただく皆さまに笑顔になってもらうため、これからも粘り強くチャレンジを続けてまいります。引き続きアジャイルメディア・ネットワークへのご支援、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

●CI 変更プロジェクトチーム及び、社員の声

- ・ポップでクリエイティブな仕事をしている感じが出ていて、良いと思った。
- ・太陽っぽく見えるのが AMN の印象に合っている気がした。
- ・AMN のかたちをモチーフにしているところが、好印象で違和感がない。
- ・アジャイルの過去の DNA を受け継ぎながら、新しい価値を表現しているシンボルになったと思う。
- ・自社にふさわしい CI を自分たちで考えて制作する、というプロジェクト自体が、すばらしいものだったと感じた。

■今後の AMN が目指すところ

AMN は世界中のファンの“好き”という気持ちや行動を、テクノロジーとアイデアで後押しする会社です。変わっていく世の中でチャレンジし続ける個人や企業のユニークなアイデアの実現を後押しし、規模は小さくてもファンによって成り立つ『小さな経済』の成長を実現するため、あらゆる接点でブランド体験が楽しいものになるためのプラットフォームを用意してまいります。

私たちが保有するテクノロジーやノウハウ、アイデアをもとに、今あるあたり前をより良いものにアップデートし、ユニークな付加価値を提供できる会社を目指し、今後も邁進してまいります。



■アジャイルメディア・ネットワーク株式会社（AMN）について

AMNは『世界中の“好き”を加速する』をビジョンに、ファンと企業/ブランドの会話やコミュニケーションを支援する事業を展開しています。製品/サービスのマーケティング活動をファンと共に推進する「アンバサダープログラム[®]」や、テスト販売・販路拡大支援プラットフォーム「CATAPULT（カタパルト）」、グループ会社を通じてパーソナライズド動画生成の特許技術「PRISM（プリズム）」を活用した動画マーケティング事業を日本及び、海外で推進しています。

URL：<https://agilemedia.jp/>



<本案件に関するお問い合わせ先>

アジャイルメディア・ネットワーク株式会社 （担当：大戸）

東京都港区虎ノ門3-8-21 虎ノ門33森ビル <https://agilemedia.jp/>

Tel:03-6435-7130 Fax:03-6435-7131 press@agilemedia.jp